

令和元年度 事務事業マネジメントシート

		事務事業No.	17-	6	
事業名	公民館諸事業経費	会計	款	項	目
		一般	10	5	3
施策	3	心豊かななまち	課名	社会教育課	
	3-1	生涯学びのあるまちをつくる	係名	生涯学習係	
	3-1-3	生涯学習の推進			
主要施策	③特色ある生涯学習プログラムの整備と提供		⑤学習成果の活用		
	⑥生涯学習に参画する人材の育成				

① 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	町民（利用者）	目的（対象がどのような状態になっているか）	地域の学習拠点、家庭教育支援拠点として利用者のニーズに応じた運用を検討するなど施設の有効利用、利便性を図る。
事業内容	中央公民館での作品展示やクラブ・サークル活動の充実、また、生涯学習の企画運営に参画するコーディネーター（指導者含む）を募集し、人材の発掘と育成を図るとともに、若者から高齢者までを対象とした学習機会の拡充に努める。			

② 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名		平成29年度	平成30年度	令和元年度	単位	目標方向	令和2年度（目標）
	1	公民館施設利用者数	29,387	30,217	26,678	人	→	26,000
2								
3								
4								
5								
			平成30年度（決算）		令和元年度（決算）	令和2年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B					6,457	6,535	6,701	
財源内訳	直接事業費A				3,475	3,553	3,719	
	うち一般財源				3,475	3,553	3,719	
人件費（千円）B					2,982	2,982	2,982	
内訳	一般職員（人・千円）		0.37	2442	0.37	2442	0.37	2442
	臨時職員（人・千円）		0.3	540	0.3	540	0.3	540

③ 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	B町が担うとともに、町民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	B対象が狭すぎる
					コストの削減	B削減の余地がややある
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①R1年度の改善計画	若年層の利用が少ない状況から、休日・夜間に開講する講座を拡充する。	③取組の課題	夜間の利用が少ない。
②R1年度に実施した取り組み	中央公民館各施設において、さまざまな学習活動等が実施された。	④今後の改善計画	夜間の利用が増えるように、魅力ある公民館講座等の開設に努める。